

平成 24 年度 21 世紀金融行動原則

運営委員会(第2回) / クライテリア委員会(第1回)

日時:平成 24 年7月 24 日(火) 13:00 ~ 15:00

場所:三番町共用会議所大会議室(本館2階)

議 事 次 第

1. 今後の在り方について(45 分)

- 今年度活動予定 [参考資料1](#)
- 環境不動産WGの座長の委嘱
- 行動原則の今後の運営方法・方針 [資料2-1](#) [資料2-2](#) [資料3](#)

2. 表彰の実施の可否について(45 分)

- 表彰の目的は? [資料3](#)
ベストプラクティスの共有
【WG・運営委員会での主な意見】 [参考資料2](#) [参考資料3](#)
 - ・賛成:署名のインセンティブ。
取組自体の認知度向上(マスコミ・ニュース性)
 - ・反対:表彰する/されることに拘ることが目的化して原則本来の趣旨が形骸化する懸念。
既存の表彰制度で受賞している金融機関もあり、環境金融に特化した表彰制度を新設する必要性が乏しい。
- 問題点
【事前のメールより】
 - ・クライテリアを作っても第3者評価機関を組成するお金がない。
 - ・ボランティアベースで評価をしてくれる金融業務に通じた第3者がそもそもいるのか?
 - ・第3者でなく自前でやるとなると、公平性が担保されない。
 - ・仮に第3者評価機関を作れたとしても、表彰に係る膨大な作業は自分たちでやらなければならない。

(裏面へ)

3. 2. の結論に応じて選択

	【パターン1:表彰を行う場合】 表彰事例の選定方法	【パターン2:表彰を行わない場合】 優良事例の選定・共有方法
(1) 表彰を実施する主体	・21世紀行動原則運営委員会 資料4 参考資料4	
(2) 対象を選定する者	・クライテリアWG(メンバー追加可能) 制約:費用面から自走しても継続可能な 選考メンバー・方法 【運営委員会での主な意見】 参考資料2 ・選考の公平性の担保(他WGのメンバーで 相互に選考/NGO等無料で選考を引き 受けてくれる人) 負担にならない応募方法 (そもそも既存の制度自体に金融機関の応募が 少ない)	・クライテリアWG(メンバー追加可能)
(3) 選定手順	資料5 ・下選考の方法	
(4) 選定基準・ 件数	資料6	
	・件数(大賞・優秀賞など)	・応募事例数に応じて原則毎に 選定数を決定
(5) 応募スケジュール	9月末まで :クライテリアの決定 10月末まで:事例提出締切と同時に表彰/優良事例も合わせて応募	
(6) 共有方法 (世間にどうア ピールするか)	・総会で表彰、マスコミPR ・HP掲載	・総会で発表、マスコミPR ・事例集の巻頭で特集 ・HP掲載

配布資料一覧

資料1	出席者名簿
資料2-1	21世紀金融行動原則の中長期目標イメージ(委員長私案)
資料2-2	運営委員ベースで共有する具体的活動計画イメージ(委員長私案)
資料3	事前意見照会結果一覧
資料4	表彰制度一覧
資料5	事例の選定手順案
資料6	事例の選定基準案
参考資料1	平成24年度ワーキンググループ概要
参考資料2	運営委員会(第1回)における決定事項
参考資料3	WGでの平成24年度以降に関するフリーディスカッション要旨(昨年度開催)
参考資料4	表彰に関する規程